

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19144
課題名	小児糖尿病患者における膵グルカゴン分泌の検討
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2024年 3月 31日
研究の対象	2018年1月～2024年3月に当院小児科で糖尿病診療を20歳未満で受けられた方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：糖尿病診療で得られた診療記録（身長、体重、血圧、年齢、性別）、病歴、治療歴、血液検査データ等）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
研究の意義、目的	<p>グルカゴンはインスリンと同様に膵臓から分泌されるホルモンで、インスリンが血糖低下の方向に作用するのに対し、グルカゴンは血糖を上昇させる作用があります。グルカゴンの分泌異常は、糖尿病における高血糖の一因として注目されています。最近になり、血中グルカゴンを正確に測定できるようになり、糖尿病診療で測定することが可能となっています。しかし、小児糖尿病においては、グルカゴン分泌異常が成人と同様に認められるのかは分かっておりません。</p> <p>そこで、本研究では、小児糖尿病患者のグルカゴン分泌に関連する要因を検討し、グルカゴンの測定値を糖尿病診療により有用に使用できることを目的としています。</p>
研究の方法	通常糖尿病診療で得られたカルテの記録から、血液検査データ（グルカゴンやインスリン、HbA1c、血糖値等）と罹病期間、性別、年齢、体格、血圧、糖尿病の病型等の関係を調べ、グルカゴン分泌に関与する因子がないか解析します。
その他	特になし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者：旭川医科大学小児科 鈴木 滋 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話 0166-68-2481（旭川医科大学小児科医局）</p>